



学校だより 特別号

特集 学校評価（後期）平成31年3月

京都市立醍醐小学校

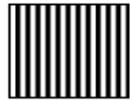
学校長 森田 和久

TEL 571-0001

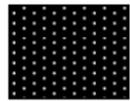
学校教育目標

「次代を拓き、共に歩む醍醐の子」

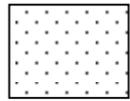
～豊かな心を育み、自ら学び 支え合い 高め合う子ども～



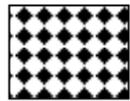
そう思う



大体そう思う



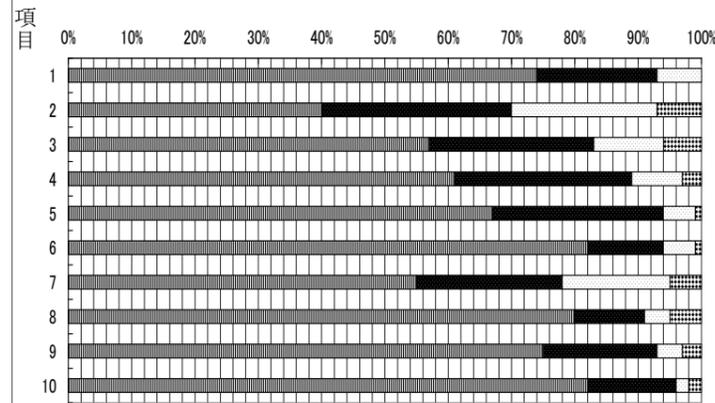
あまりそう思わない



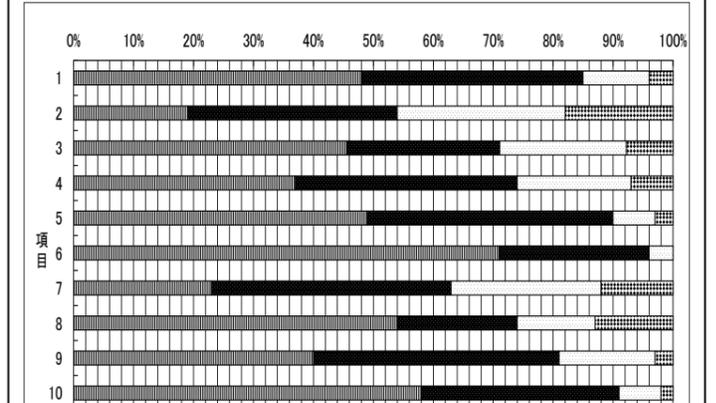
そう思わない

アンケート項目（児童）

1	学校は楽しい。
2	家では自分から進んで学習している。
3	本を読むことが好き。
4	自分から進んであいさつをしている。
5	学校や学習のルールを守っている。
6	友だちと仲よくしている。
7	自分にはよいところがあり、好きだと思っている。
8	将来の夢や目標がある。
9	自分は地域の人たちに大切にされていると感じる。
10	自分の住んでいる「醍醐のまち」のことが好き。



児童1～3年



児童4～6年

<家では自分から進んで学習していますか>

平成30年度前期と比べ、1～3年生は70.2%、4～6年生は54.2%、平均して62.2%で4.2p下がっています。授業中の子どもの様子をしっかりと把握し、学習が分かっていない子には放課後や休み時間を使って個別に指導していくことを引き続き取り組んでいきます。

<友だちと仲良くしていますか>

前期と比べ1～3年生は94%、高学年は96.4%で29年度と比べ、2.3%上がっています。なりた自分、夢や希望を具体的に描けるよう児童のがんばりを認めながら、引き続き見守ってきたいと思います。

<将来の夢や目標がありますか>

前期は77.2%に対して、後期は88.7%と11.5%上がりました。家庭でいろいろお話ができる時間をつくっていただいていることが結果につながっているのだと思います。学校の方でも児童のがんばりを認めながら、キャリア教育の視点を意識した取組を進めていきたいと思っています。

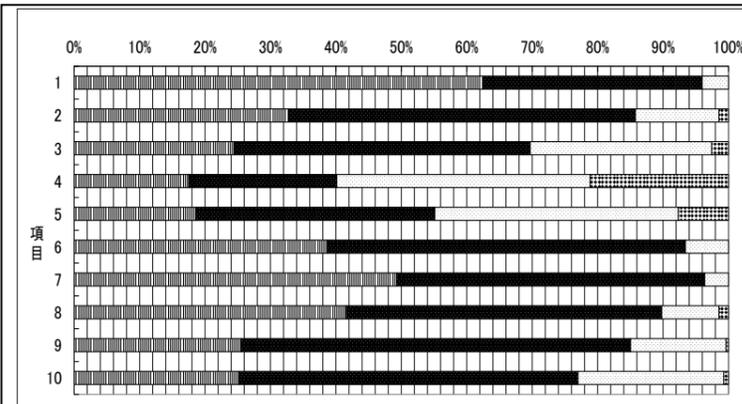
<子どもは友だちを思いやり、仲良くしている>

前期82.6%に対して、後期は95.8%と13.2%上がりました。今後も人を思いやれるやさしい子どもを育てるために、コミュニケーション能力の育成、道徳教育の充実に取り組んでいきます。

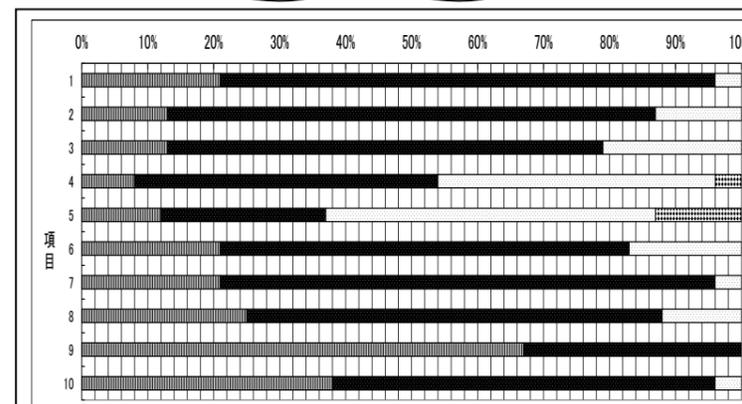
<醍醐の子どもは自分から進んであいさつをしている>

前期と比べ、後期は68.9%と11.1%上がりました。見守り隊を始め地域の方が毎朝、笑顔で子どもたちに接していただいているからだと思っています。

保護者



教職員



アンケート項目（保護者）

1	子どもは楽しく学校に行っている。
2	子どもは基礎学力が身についている。
3	子どもは家庭学習が習慣化している。
4	子どもに読書の習慣が身に付いている。
5	子どもは自分から進んで挨拶をしている。
6	子どもは学校のきまりや約束を守っている。
7	子どもは友だちを思いやり、仲よくしている。
8	早寝・早起き・朝ごはんを心がけている。
9	子どものよいところを伸ばしたりほめたりしている。
10	子どもに将来の夢や目標をもたせるよう働きかけている。

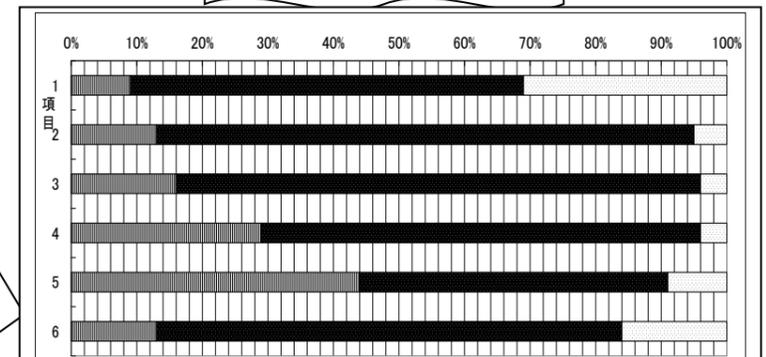
アンケート項目（教職員）

1	子どもは楽しく学校生活を送っている。
2	子どもは基礎学力が身についている。
3	子どもは家庭学習の習慣が身についている。
4	子どもは読書の習慣が身についている。
5	子どもは自分から進んで挨拶をしている。
6	子どもは学校や学級のきまりや約束を守っている。
7	子どもは友だちを思いやり、仲よくしている。
8	子どもは早寝早起き朝ごはんを心がけている。
9	子どもは地域の人たちに大切にされている。
10	子どもは「醍醐のまち」のことが好きだと思っている。

アンケート項目（地域）

1	醍醐の子どもは自分から進んで挨拶をしている。
2	醍醐の子どもは学校や社会のきまりや約束を守っている。
3	醍醐の子どもは他人を思いやり、仲よくしている。
4	醍醐の子どもは地域行事に積極的に参加している。
5	学校だよりやホームページで学校の様子が伝わっている。
6	学校は質問や相談しやすい雰囲気がある。

地域



自ら学び、創造力のある子ども

本を読むことは好きですか。

前期1回目のアンケートで、「そう思う」と答えたのは、76.8%で、後期2回目は、1～3年は83.4%、4～6年は64.4%、平均して73.9%と2.9%下がっています。低学年と高学年とでは開きがあります。読書バッグの導入などで学校での読書の関心が増したものの十分に読書の習慣がつくところまではいっていないようです。今後も学校司書と連携を深め、本を読む機会が少しでも増えるよう取組を進めていきたいと思ひます。そして想像力のある子どもたちの育成に繋げていきます。

豊かな感性をもち、人やものを大事にできる子ども

学校や学級の約束やルールを守っていますか。

後期2回目も前期1回目と同じ「そう思う」が、9割を超える92.2%の回答です。保護者も95.0%と9割を超えています。教職員は83.3%です。「醍醐小学校の約束」を基本に、全校で規範意識の育成に向けて引き続き取組を進めています。そしてそのことが人やものを大事にできる思いやりのある子どもを育てることにつながると考えています。

心身をきたえ、ねばり強い子ども

自分から進んで体を動かしている。

前期1回目のアンケートより0.3%上がり79.6%となっています。低学年の子の方が高学年の子より体を動かしているという結果が出ています。高学年になるほど、いろいろと忙しくなり、体を動かす機会が少なくなるのかもしれませんが。休み時間にはできるだけ教員も子どもたちと一緒に運動場や中庭で体を動かす機会をつくっていききたいと思ひます。

～「ふるさと醍醐」で子どもを育て、保護者・地域・学校の連携～ 平成31年3月4日（月） 学校運営協議会より

理事長より

- ・学校評価アンケートの内容項目の見直しを検討していく。
- ・次年度より、学校運営協議会の年度の変り目が10月から4月に変更になる。



生徒指導主任より

- ・全体としてはまだまだ十分ではないが、昨年度と比較しても挨拶ができる子は増えてきている。
- ・今年度、本校の児童と醍醐中学校の生徒会の生徒が挨拶を一緒に行うあいさつ運動を行った。取組としては盛り上がった。今後もより挨拶する習慣をつけていきたく。子ども達からの自主的な取組を中心に進めていきたい。

学校長より 「豊かな心を育てるために」

豊かな心の育成に関する5項目

- ① 道徳教育の充実
- ② 伝統文化や芸術を通じ豊かな感性や情操を育てる教育の充実
- ③ 規範意識の育成
- ④ 多様性を理解する姿勢
- ⑤ 高め合う集団作りの推進と絆づくり

本校での取組

- ・「うたごえタイム」は全校を上げて取り組んでいる。
- ・人権学習（ハートフルウィークの実施）ハートフルタイムでは、ペア学年で互いに思いや考えを交流するよい機会。異学年で交流することで学ぶものがあると考えている。
- ・たてわり活動の充実。仲良しグループでの活動を通して、異学年の児童がより絆を深めていくことができる。
- ・あいさつ運動。校内放送でも委員会の児童がいろいろな呼びかけをしてくれている。
- ・ハッピーボックス、ハッピータイムの取組。喜びや感動・感謝の気持ちをみんなに分ち合うことができる。

地域・保護者より

- ・朝は家庭の事情もあり、挨拶に元気がない様子も見られる。夕方には元気な挨拶を返してくれることが多い。保護者も同様に挨拶をしてほしいと思う。高学年になると声が小さくなる傾向があるように思う。
- ・挨拶をしている様子は兄弟によって違う。親として声掛けはしているが、いずれ挨拶をしてくれると信じている。登校班の集合場所に毎日行っているが、こちらから挨拶をしないと子ども達からの挨拶は少ない。毎朝地域の方も立っていただいているので、申し訳ないという気持ちがある。
- ・4月頃は挨拶ができる。新1年生も元気な挨拶をしている。段々と日が経つにつれて挨拶の声がなくなっていく児童が多いと感じる。根気よく声をかけて挨拶をするように促していきたい。
- ・挨拶については子ども達の回答と教職員の回答に大きなギャップがある。より一層子ども達が元気に楽しく声を発することができるように考えていきたい。